



安城市社会福祉協議会 「ふれあい大使」のハートンです♡



さくら保育園のみんなから「ハート」のペンダントもらったよ。これからも蝶々の妖精ハートンよろしくね。

桜井福祉センターで開催しているさくら保育園主催の「わくわく会」に参加しました。
わくわく会では、園児と桜井福祉センターを利用する高齢者のみなさまが、歌やふれあい遊びで楽しく交流しています。次回は6月30日(木)午前10時30分から開催予定ですので、ぜひ遊びに来てください。
ハートンは、地域の助け合いやふれあい活動を応援しています。

特集 災害ボランティアセンターを ご存じですか？

'16 6/15 第87号

編集と発行／社会福祉法人 安城市社会福祉協議会
〒446-0046 安城市赤松町大北 78 番地 4 (社会福祉会館内)
TEL 0566(77)2941・FAX 0566(73)0437
E-mail syakyo@city.anjo.aichi.jp <http://www.anjo-syakyo.or.jp/>

災害ボランティアセンター

をご存知ですか？

熊本県を中心に甚大な被害をもたらした「平成28年熊本地震」。2か月たった現在も被災地の復旧・復興支援のために、全国からボランティアが駆け付けています。

「被災地のためにすぐにでも何かしたい」「被災者を助きたい」との熱い思いをもったボランティア活動者（以下、「活動者」）に、現地の状況を正しく伝え、安全に活動していただくために、災害ボランティアセンター（以下、「災害ボラセン」）が大切な役割を果たしています。

今回は、災害ボラセンの機能とそこで活躍する災害ボランティアコーディネーター（以下、「コーディネーター」）についてご紹介します。

「災害ボラセン」はどんなところ？

①被災者のニーズの把握

被災地での活動で大切なことは、被災者の状況やニーズを把握したうえで、被災者に寄り添って活動することです。そのために、地域からの聞き取り調査や窓口での情報収集を行います。

②ボランティアの受付・活動調整

被災者からの依頼内容を活動者に示し、活動者自らが活動を選ぶ形でマッチングを行います。活動に際しての注意事項などを伝え、必要な道具を貸し出して活動場所に送り出します。

被災者等のニーズと活動者をつなぎ、円滑にボランティア活動ができるように調整をします。

活動者の受付



③ボランティア活動保険の手続き

被災地でボランティア活動をするには、保険への加入が必須です。活動中のケガや活動先の物損等の補償がされるため、活動者も依頼者も安心です。※保険の加入は、被災地の負担を減らすために事前に住所地の社協で加入することが原則です。



活動者に被災状況を説明

④関係機関・団体等との連絡調整

市やNPO、地元企業などと連携し活動資金や資機材の確保に努めます。

また、近隣市町村および県社協を通じた関係機関への協力要請、報道機関への情報提供なども行います。

安城市の「災害ボランティアセンター」の設置や運営は？

安城市では、市が被災状況を確認した上で、市と社協が協議し、発災から72時間以内に市役所さくら庁舎（旧西会館）に災害ボラセンを設置することになっています。

運営は、市と社協、養成講座を受講したコーディネーターが行います。



発災時、災害ボラセンが設置されるさくら庁舎

「“地元の” コーディネーター」を求めています！

災害ボラセンを運営するにあたり“地元のことをよく知るコーディネーター”がいることで、被災地域の地域性を考慮しながら、適正かつ円滑に活動者を活動場所に送り出すことができます。

平成28年4月1日現在、安城市社協ボランティアセンターには37名のコーディネーターが登録されていますが、長期的な運営が必要な場合、十分な人数とは言えません。

下記の講座を受講して、ぜひあなたの力をお貸しください。



たくさんのご参加・ご登録をお待ちしています♪

災害ボランティアコーディネーター養成講座

内 容：

【1日目】 7月30日（土） 午前10時～午後4時

午前	講演会	「災害時の要配慮者支援を通して考える 助け合いの地域づくり」 講師：同志社大学社会学部 教授 立木 茂雄 氏	文化センター マツバホール
午後	講義	災害ボラセンの設置・運営等について 災害ボラセンの流れ 講師：NPO法人コミュニティサポーターほっふ やました かつあき 氏他 山下 克昭 氏他	市民会館 大会議室 他

【2日目】 7月31日（日） 午前10時～午後4時

午前	模擬演習	ボランティアコーディネーターによる模擬演習 協力：碧海5市ボランティアコーディネーター	市民会館 大会議室 他
午後	演習	受講生による演習 ワークショップ&交流会	

定 員：80名

申込み期限：7月22日（金）

申込み・問い合わせ：総務課事業係 ☎77-2941



ハートンからの
おしらせだよ!

夏のボランティア 体験プログラム

市内の福祉施設のご協力により、ボランティアを始めたみなさまの第一歩を応援する企画です。

「定年退職後にボランティアがしたいけど、きっかけがない。」「夏休みを充実させるために、ボランティアにチャレンジしたい。」など、お考えの人はこの機会にボランティア活動を体験してみませんか？



期間▼7月21日(休)から8月31日(休)までの施設の受け入れ可能日

場所▼市内の福祉施設

対象▼市内在住又は在学の中高校生、市内在住又は在勤の16歳以上の

の人

参加費▼300円(ボランティア活動保険料として)

受付▼6月17日(火)から受付

申込み手順

市内の中学校・高校、安城市社協ウエブサイト又はボランティアセンター窓口に「申込みの手引き」と「申込書」がありますのでご利用ください。

①活動場所を選ぶ

「申込みの手引き」から体験施設と日時を選びます。

②予約する

活動を希望する施設・日時をボランティアセンターに電話で予約してください。

③申込書を提出する

予約の取れた施設・日時を「申込書」に記入し、ボランティアセンターに提出してください。

④事前説明会に出席する

安全に、充実したボランティア体験をするために、
①7月9日(土)午後1時30分～3時
②7月16日(土)午前10時～11時30分
のいずれかの説明会に必ず出席してください。

申込み・問い合わせ

ボランティアセンター(社会福祉会館内)

☎(77)2941

結婚支援講演会

「未婚の子を持つあなたへ」

「未婚の我が子と結婚について、どう話したらいいかわからない。」「どうしたら結婚を意識してくれるのだろうか」とお悩みを持つ人へ向けた講演会です。

日時▼8月13日(土)午前10時～正午

場所▼総合福祉センター 会議室3

対象▼未婚の子の親族

講師▼加藤 奈穂子氏(株式会社ヒューマンエナジー代表取締役)

定員▼50名(先着順)

受付▼6月18日(土)午前9時から電話にて受付

申込み・問い合わせ

事業係 ☎(77)2941



介護者のつどい

介護者のリフレッシュと情報交換の場です。
申込み・参加費は不要で、途中での入室も可能です。介護をしている人、介護に関心のある人など、お気軽にご参加ください。

	日時・場所	問い合わせ
介護者のつどい	7月14日(木) 午後1時30分～3時 中部福祉センター教養娯楽室	中部福祉センター ☎76-0090
	7月23日(土) 午前10時～11時30分 桜井福祉センター多目的室1	桜井福祉センター ☎99-7365
	7月28日(木) 午後1時30分～3時30分 北部福祉センター研修室	北部福祉センター ☎97-5000
介護者おしゃべりサロン	7月2日(土) 午後1時～4時 社会福祉会館 集会室	ボランティアセンター ☎77-2941

※介護者おしゃべりサロンは当事者による自主グループです。

5月15日号の「あんじょう社協だより」の表紙の題字において、「大山町の荻野紗弥さんの作品です」と表記しなければいけないところを誤って「住吉町の荻野紗弥さんの作品です」と表記してしまいました。お詫びして訂正いたします。



平成28年熊本地震災害義援金や東日本大震災義援金を付けています。みなさまのご支援お待ちしております。

